



ご使用前に必ずお読み下さい。
つめかえインク取扱説明書
つめかえインク INK-HP694・HPBK2



INK-HP694・HPBK2

対応カートリッジ		対応プリンタ	
ヒューレット パカード	51645A 51629A 51640A	デスクジェット 990c m・990cxi・970Cxi・957c・955C・930c・895Cxi・880C・850C・815C・720C・710C・694C・1220C・1125C・1120C、フォトスマート 1315・1215・P1100・P1000、デスクライター 694C・680C・660C・600・650C、デザインジェット 450c・430・350c・330・250c・230・750c+・750c・700	
NEC	PR-101/J400-01 PR-101/J400-01A PR101/J180-01 PR101/J180-01A	PICTY 960・920S・900・860・820W・400・320・4000・700・300・220・200・180	
レックス マーク	12A1970 17G0050 10N0016	X83・X75・Z53・Z35・Z32・Z12	



インクカートリッジの種類により適するインクが異なります。
対応カートリッジをご確認の上ご使用下さい。
インクは身体及び衣類等に付着するとすぐには消えません。取扱にご注意下さい。
ご使用前に注意事項を必ずお読み下さい。

安全上の注意

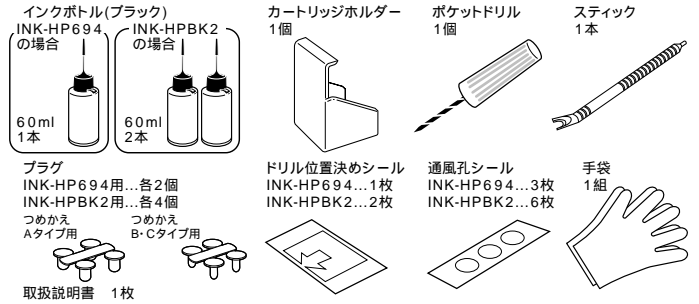
次の注意事項は、つめかえる時の危害や損傷を未然に防ぎ、つめかえインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。
つめかえは新聞紙などを敷いて、その上で行って下さい。
つめかえる時にインクがこぼれ、周辺が汚れる事があります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめ用意下さい。
本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては注入する時の他は、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持たないようにして下さい。
インクボトルのノズルの先からインクが飛び出したり、こぼれ落ちて身体や衣類に付着しないように注意して下さい。
ポケットドリルは金属製です。ご使用の際は、手・指などをけがさないように取扱説明書に従って注意して穴をあけてください。使用しない時は、インクボトルと共に袋に入れ、パッケージ(外箱)に入れて保管してください。また、つめかえインク以外の用途には使用しないでください。

注意

子供の手の届く所に置かないで下さい。
飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、すみやかに医者診断を受けて下さい。
目に入ってしまった場合にはすぐに水で洗い、専門医の診察を受けて下さい。
カートリッジをプリンタから取り外したり、取り付けたりする時は、プリンタの取扱説明書の指示に従って下さい。
当社以外のインクとの併用はしないで下さい。
インクは開封後1年以内に使用下さい。

セット内容

このパッケージの中には以下のものが含まれています。もし、不足しているものや、損傷などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



インク成分

[蒸留水] 50 ~ 60%・[溶剤(グリコール)] 20 ~ 30%・
[その他(顔料など)] 2 ~ 10%

サンワサプライ株式会社

保管

つめかえした後の残ったインクは、キャップをしっかり閉め、直射日光の当たるところ及び、高温多湿の場所は避け、涼しい所で保管して下さい。
インクの漏れを防ぐために容器は立てて保管して下さい。
本製品のインクは当社オリジナルインクを使用しています。本製品は日本ヒューレットパカード及び(株)NEC及びレックスマークとは無関係で承認を受けたものではありません。商品仕様は諸般の事情により予告なく変更することもありますので、あらかじめご了承ください。
記載されている会社名・商品名は、一般には各社の商標または登録商標です。
万一当社の製品上の原因による品質不良がありました場合には、同数の新しい製品と取り替えいたします。それ以外の責はご容赦願います。
改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。

トラブルシューティング

つめかえインクを使用したカートリッジを使ったプリンタは、メーカーによっては不正改造に当たると判断される場合があります。不具合が発生した場合、まず弊社にご連絡ください。

症状	確認事項	処置
商品が足りない	取扱説明書にあるセット内容をご確認ください	足りない場合は弊社までご連絡ください。早急に対応させていただきます。
インクボトルから漏れている	傷はついていませんか	運送上の可能性あります。お買い求めになった販売店にご相談ください。
印字がかすれる	ヘッドクリーニングを行いましたか	印字が安定するまでクリーニングを繰り返してください。
	つめかえ回数を確認してください	つめかえ回数を超えますと印字の状態が悪くなります。新しいカートリッジをご使用ください。
印字出力した色が異なる	ノズルチェックを実行して、出力した色を確認してください	印字されない色がある。クリーニングを実行してください。改善されない場合は、印字されない色をつめかえてください。 純正インクは使用しておりませんが、同等の品質を実現させておりますが、若干の色の違いが発生する場合があります。セルフテストを繰り返して印字を安定させてください。
印字ができない	カートリッジからインクが供給されているか確認してください	プリンタのヘッドクリーニングを実施してください。長期間プリンタを使用しないと、インクが中で固まっている可能性があります。つめかえインクが瞬間的にインクを凝固させることはありません。
	カートリッジを確認してください	互換カートリッジを使って使用していませんか。純製品以外には対応しておりません。 カートリッジを長期間ははずしたまま放置していると、ヘッドにインクが付着したまま固まっている可能性があります。つめかえる前に、必ず印字できるか確認してください。
印刷時インクの出方にムラがある	他社のカートリッジを使用していませんか	インクの入れすぎの可能性あります。ティッシュペーパーの上にカートリッジのプリントヘッドを下にして2~3分置き、余分なインクを吸収させてください
注入後のカートリッジからインクが漏れている	カートリッジからインクが漏れていませんか	純正互換のインクなので、必ず純正カートリッジを使用後お使いください。
インクが手(衣服)に付着した	手袋は着用していただけていますか	人体への影響はありませんが、つめかえを行うときは、必ず手袋を着用してください。 万が一、付着した場合は、ぬるま湯でゆっくりと汚れを落としてください。
	新聞、ペーパータオルをご使用していただけていますか	インクが衣服に付着した場合、洗浄するのは困難です。必ず、取扱説明書を読んでいただき、付着しないように気を付けてつめかえをしてください。

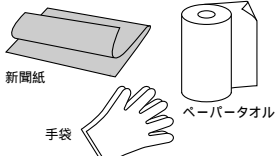
つめかえの前に必ずお読みください

つめかえの手順は裏面です。

! 長期間プリンタをお使いになってない場合、つめかえを行う前に、必ず印字できるかどうか、ご確認ください。
乾燥しやすい場所では、作業しないでください。印刷ヘッドやインクが凝固し、故障の原因となる恐れがあります。
カートリッジ内のインクがなくならないうちにつめかえを行って下さい。つめかえしてもプリントヘッドのインク供給に時間がかかり、しばらく印字しない場合があります。

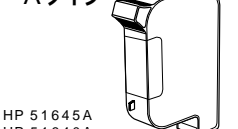
準備1 汚れ防止のための準備

つめかえのときにインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙、またはペーパータオルを用意し、その上でつめかえを行ってください。
手順2以降は、手袋()を着用してください。

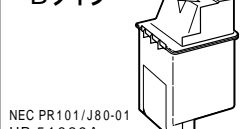


準備2 カートリッジの確認(タイプによってつめかえ方法が異なります)

Aタイプ



Bタイプ



Cタイプ



つめかえの手順

Aタイプ(ポケットドリル不使用)

1 インクカートリッジをセットする

ペーパータオルなどの上にプリンタから取り外したインクカートリッジを図のようにセットします。

ペーパータオルなどを3枚程度重ねてください。

2 カートリッジに注入口をあける

インクカートリッジ裏面のインク供給口の丸いシールの下には、ボール栓があります。この丸い部分の中央に付属のスティック()の先を押し当てて、ボール栓をカートリッジの中に落としこんでください。

取扱い中は、プリントヘッドやコンタクトに触れないようにして下さい。落とし込んだボール栓は、カートリッジの中に残りますが、プリントには影響はありません。

3 インクボルのゴムキャップをはずす

手袋()を着用します。インクボルのノズルキャップを取り外したり開めたりする際は、ノズルの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。

注意
インクボルの部分は絶対に押さえなくてください。インクが飛び出すことがあります。(ノズルキャップを開める際はノズル先端から1cm程差し込んでください。)

4 インクを注入する

インクボルのノズル先を水平より上に持って、注入口にノズルの先端を合わせます。そのままインクボルが垂直になるように起こして約1cm程差し込み、ボルをゆっくり絞りながらインクを注入します。インクの注入量は、ボルの目盛りを目安にして、1回に約30mlのインクを注入してください。

注意
ノズルの根元で注入口をふさがないように、空気の抜けるすき間を確保しておいてください。ふさいでしまうと空気の逃げがなくなり、プリントヘッドからインクがもれ続け、止まらなくなったり、中のインク袋が圧力で破れたりして不具合の原因となります。

5 注入口にプラグを差し込む

付属のプラグ()を注入口に差し込み、インクが漏れないようにしっかりと栓をします。注入口からこぼれたり、付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。

プラグは最後までしっかりと差し込んでください。2回目以降は、インク注入口に差し込んだプラグをスティック()で外してつめかえを行います。

6 カートリッジの内部調整(インクの引きだし)

カートリッジ内部のインクと空気を安定させるため、プリントヘッドをペーパータオルなどに軽く押し当て、約30~60秒間インクを引き出して下さい。プリントヘッドや注入口からインクのもれがないか確認してから、プリンタに取り付けて下さい。

インクのもれが止まらない場合は、注入口のプラグをしっかり差し込まれているかを確認し、プリントヘッドのもれの時は内部調整をもう一度行って下さい。

注意
もれが止まらないカートリッジをそのままプリンタに取り付けしないで下さい。プリンタ故障の原因となります。

最後に クリーニング・印字テスト

最初にクリーニングを1回行い、印字テストを行ってください。プリントがよくない場合は、もう一度クリーニングと印字テストを行ってください。クリーニングと印字テスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。クリーニングの繰り返しはインクカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

詰め替えが終わったら

詰め替え後の残ったインクは、ノズルキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け、涼しい所に立て、次の詰め替えまで保管してください。

詰め替え回数

つめかえインクによるカートリッジの再使用は、3~4回までが適当です。それ以上のつめかえは、インク供給に不具合を生ずることがあります。その際は新しいカートリッジをお買い求め下さい。

Bタイプ

1 インクカートリッジをセットする

カートリッジのプリントヘッドをカートリッジホルダー()の底の奥側スポンジに合わせて押し込み、ホルダー上部のツメに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

2 カートリッジに注入口をあける

カートリッジ上部に貼り付けたドリル位置決めシール()の丸穴部分にポケットドリル()の先端を当て、少し力を加え時計方向に回転させながら、穴をあけます。完全に穴があいたら、ポケットドリルを反時計方向に回しながら抜き取り、切りくずを取り除いてください。

最初... カートリッジ上部にドリル位置決めシール()を貼り、通風孔に通風孔シール()をすき間のないように貼ります。

3 インクボルのゴムキャップをはずす

手袋()を着用します。インクボルのノズルキャップを取り外したり開めたりする際は、ノズルの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。

注意
インクボルの部分は絶対に押さえなくてください。インクが飛び出すことがあります。(ノズルキャップを開める際はノズル先端から1cm程差し込んでください。)

4 インクを注入する

インクボルのノズル先を水平より上に持って、注入口にノズルの先端を合わせます。そのままインクボルが垂直になるように起こして約1cm程差し込みます。ボルを手で握り、ゆっくり絞りながらインクを注入します。インクの注入量はボルの目盛りを目安にして、1回に約20mlのインクを注入してください。ただし、注入口からインクがあふれそうになったら、注入を中止してください。

注意
ノズルの根元で注入口をふさがないように、空気の抜けるすき間を確保しておいてください。

5 注入口にプラグを差し込む

付属のプラグ()を注入口に差し込み、インクが漏れないようにしっかりと栓をします。注入口からこぼれたり、付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。

その後、手順2で貼った通風孔シールをはがしてください。

プラグは最後までしっかりと差し込んでください。2回目以降は、インク注入口に差し込んだプラグをスティック()で外してつめかえを行います。

注入が完了したら、ホルダーのツメ部分を親指で持ち、もう一方の手でカートリッジ上部を持ち、カートリッジをスポンジ部分に押し付けるように引き上げ、そのまま抜きます。

Cタイプ

1 インクカートリッジをセットする

パッケージの裏面がカートリッジホルダーとなっています。インクカートリッジのプリントヘッドを下にして、セットします。

2 カートリッジに注入口をあける

付属のポケットドリル()をカートリッジ上部のフタに垂直に立て、少し力を加えながら時計方向に回し、注入口をあけます。

注入口は各カートリッジの注入口を参照してください。

3 インクボルのゴムキャップをはずす

手袋()を着用します。インクボルのノズルキャップを取り外したり開めたりする際は、ノズルの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。

注意
インクボルの部分は絶対に押さえなくてください。インクが飛び出すことがあります。(ノズルキャップを開める際はノズル先端から1cm程差し込んでください。)

4 インクを注入する

インクボルのノズル先を水平より上に持って、注入口にノズルの先端を合わせます。そのままインクボルが垂直になるように起こして深く差し込みます。ボルを手で握り、ゆっくり絞りながらインクを注入し、予定の注入量になったらノズルをカートリッジ内で少し持ち上げて握りを戻します。カートリッジ内にはスポンジが入っていますので、インクが浸透しやすいように数回に分けて注入してください。1回の注入量は、ボルの目盛りを目安にしてください。

12A1970・17G0050...約20ml
10N0016...約8ml

ただし、注入口からインクがあふれそうになったら、注入を中止してください。

注意
インクボルの根元で注入口をふさがないように、空気の抜けるすき間を確保しておいてください。

5 注入口にプラグを差し込む

付属のプラグ()でインク注入口にしっかりと栓をします。2回目以降は、インク注入口に差し込んだプラグをスティック()で外してつめかえを行います。

サンワサプライ株式会社
〒700-0825 岡山市田町1-10-1 tel:086-223-3311
東京サブライセンター
〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 tel:03-5763-0011

www.sanwa.co.jp/

休日・土日・祝日 受付
夜間:18:00~翌9:00 受付 tel:03-5389-7078